

思春期の 子育て支援

家族になることを想像する

日時: 2011年9月3日(土)

14:00~16:40

会場: 岡山大学鹿田キャンパス
医学部 保健学科棟 3F
301大講義室

14:00~14:20

なぜ今、
「思春期からの子育て支援」なのか？

「妊娠中からの子育て支援」

システムから見えてきたもの

日本産婦人科医会 岡山県支部理事
岡山大学大学院保健学研究科 中塚幹也

10代の妊婦用パンフレット
妊娠中のDVパンフレット
産後の精神支援パンフレット
配布中

14:20~14:40

「ケータイ依存とさみしさ：高校生の調査データから」
岡山大学大学院保健学研究科 中塚幹也

14:40~15:10

「デートDV：学生ピアサポートグループの取り組み」
岡山大学教育学部 ピアサポートグループ

15:20~15:40

「中学生と赤ちゃんの交流から見えてきたもの」

NPO 子ども達の環境を考える ひこうせん 赤迫康代

15:40~16:10

「思春期の子どもたち～ワークショップから感じること」
子育て応援隊kara² CAP おかやま 山下明美

16:10~16:40

「グループ討論」

CAP (Child Assault Prevention) (子どもへの暴力防止)

岡山県産婦人科医会

〒703-8278 岡山市中区古京町1-1-10-602 県医師会内

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Phone & Fax: 086-235-6538 E-mail: josan@cc.okayama-u.ac.jp

助産ネットURL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>



公開セミナー 『思春期からの子育て支援』

家族になることを想像する

日時: 2011年9月3日(土)

14:00~16:40

会場: 岡山大学鹿田キャンパス

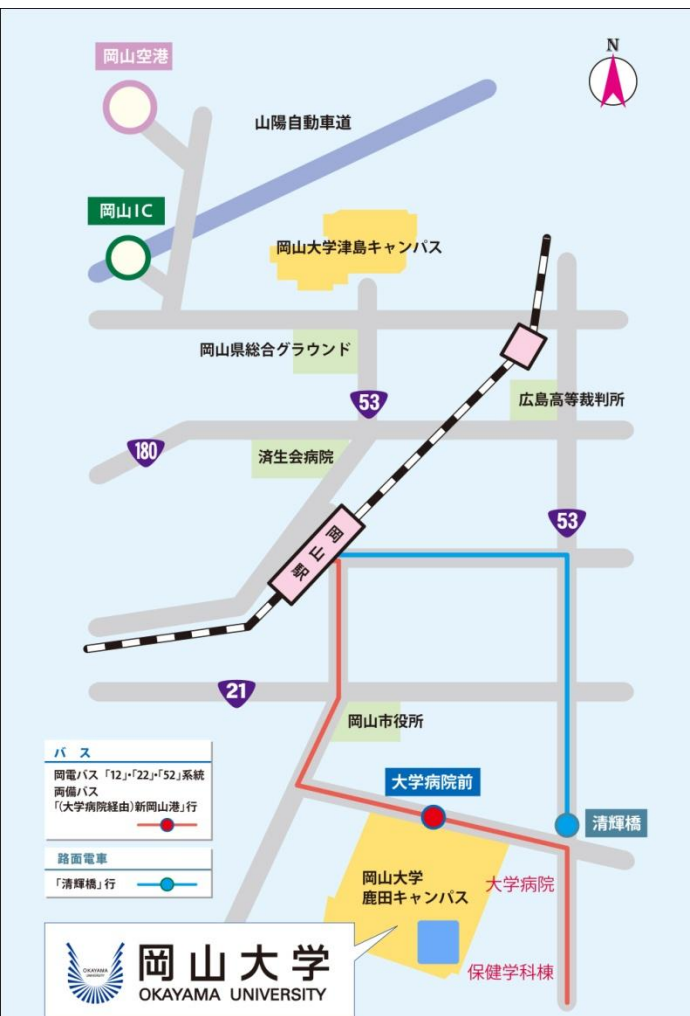
医学部 保健学科棟 3F 301大講義室

核家族化などに伴う家族機能の低下により、子育ての孤立や育児不安を抱えている親が増加しており、子どもへの虐待の相談件数増加も加速するなど、大きな社会問題となっています。岡山県の「飛び込み分娩」調査(2008年)、岡山県・広島県の「妊娠中のDV」調査(2009年)の中では、その背景に未婚、未成年、貧困、パートナーからのDV被害など種々のリスク因子が潜んでいることが分かりました。

地域保健の現場では、乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)により産後4か月以内には訪問が行われ、親子の心身の状況や養育環境等の把握が行われていますが、訪問が行われる前に、新生児のネグレクト、身体的虐待などが発生している現状があります。このため、岡山県産婦人科医会、岡山子育てネットワーク研究会、岡山大学大学院保健学研究科では、妊娠中から切れ目のない『産科発の子育て支援』『妊娠中からの子育て支援』のための公開セミナー、公開シンポジウムを開催してきました。

「産科施設」は、母子と社会との最初の接点であり、妊婦への医療的な支援が産科医師、助産師により行われています。しかし、分娩が済み、1ヶ月健診が終了すると、何となく気になる母子に不安を感じながらも見送る形になっています。2011年1月より、全国に先駆けて、『「妊娠中からの気になる母子支援」連絡システム』を構築し、妊娠中から「未婚」「未成年」「DV」「望まない妊娠」などの社会的ハイリスク妊婦の支援を始めています。しかし、その前には、思春期があります。

本セミナーを契機にして、種々の社会的ハイリスク因子を持って妊娠していくカップルへの支援のため、また、その予防のため、『思春期からの子育て支援』に向けて、今、動きだします。



日本産婦人科医会 岡山県支部

〒703-8278 岡山市中区古京町1-1-10-602 県医師会内

岡山大学COE

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Phone & Fax: 086-235-6538 E-mail: josan@cc.okayama-u.ac.jp

助産ネットURL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>